

前行政相談委員 阿部幸司さんに総務大臣から感謝状贈呈

3月まで角館地区の行政相談委員を務められた、阿部幸司さんに総務大臣から感謝状が贈られ、5月8日にその贈呈式が行われました。

贈呈式では、総務省秋田行政評価事務所の高野所長が阿部さんに感謝状を贈呈しました。

阿部さんは、平成5年から16年間の長きに渡り住民と行政のパイプ役として、住民からの相談を受け付けてきました。



阿部幸司さん

行政相談委員 難波輝子さんに東北管区行政評価局長から表彰状贈呈



難波輝子さん

田沢湖地区の行政相談委員の難波輝子さんに、東北管区行政評価局長から表彰状が贈られ、5月13日に贈呈式が行われました。

難波さんは、平成13年に委嘱されて以来、8年に渡り住民からの様々な意見・要望を聞き、その解決にご尽力されてきました。

新行政相談委員に大楽進さん

角館地区の後任の行政相談委員として、5月からは大楽進さんが新たに委嘱されましたので、お気軽にご相談ください。

(行政相談委員の連絡先は、21ページの「行政相談所の開設」をご覧ください。)



大楽進さん

仙北市汚泥再生処理センターが完成しました

仙北市環境保全センターのし尿処理場(昭和50年、55年竣工)の老朽化に伴い、周辺への悪臭を考慮し、平成19、20年度の2ヶ年事業として建設しておりました、汚泥再生処理センターが、平成21年3月に完成し、その竣工式が4月16日に行われました。竣工式は、仙北市議会議員をはじめ、県生活環境部長、地元蘭田地区の環境保全協議会委員、工事関係者等45人の出席により行われました。



当処理センターの総事業費は16億6千8百73万6千円、施設の建築面積1,192.07㎡、延床面積2,675.73㎡、1日当り最高60kℓまで処理が可能で、その処理方式は膜分離高負荷脱窒素処理方式+高度処理+リン回収方式となっています。し尿処理施設としては、全国で初めてリンの回収設備を有した施設で、回収したリンは価値の高い肥料として農地に還元する事ができます。

当処理センターはこれまでの「使い捨て型社会」から脱し、全国に先駆けてクリーンな環境を残して行くため「地域循環型社会」づくりへの施設、第1号として稼働をしています。

また、仙北市環境保全センターは平成20年度まで市が直営で運営しておりましたが、当センター従事の市職員6名(事務員)を除いて、平成21年度より施設(ごみ処理施設並びに汚泥再生処理センター)の運転業務を外部委託し、管理をおこなっています。



リン回収設備